



設楽ダムだより

第185号

地域保全

2026. 2



地域保全

～地域と共に環境を守ります～



令和7年度の地域保全の取り組みについて

田口小学校の3、4年生は総合的な学習の時間で、国の天然記念物であるネコギギについて、一年間、勉強してきました。

この授業には田口高校理科部の皆さんも参加しており、一緒にネコギギについて学習や観察を行い交流を深めました。

また、小学生たちは学習してきた内容を、全校集会や生態系ネットワークフォーラムの場で発表しました。さらに自分たちで物語から創った、ネコギギが主人公の劇を学芸会で披露しました。

田口高校の皆さんはネコギギの保全活動だけでなく、湿地でフィールドワークを実施し、生物調査などの活動を継続して行っています。

このような取り組みを通じて、世代の異なる子どもたちが交流を深め、設楽町に関心や愛着をもっていただき、地域の皆さまと地域の宝物であるネコギギをはじめとした設楽町の豊かな自然を守る「地域保全の取り組み」を今後も進めて参ります。

田口小学校 × 田口高校(理科部)



田口小学校



新城設楽生態系ネットワークフォーラム2025

田口高校



湿地でのフィールドワーク



❄️ 雪化粧の設楽ダム ❄️

1月30日、設楽ダムの工事現場で雪が積もりました。積雪深は最大10cm程度で、深く積もった訳ではありませんが、北風に運ばれた雪が設楽ダムの左岸側を白く染めました。



上流側から撮影した設楽ダム建設予定地

見晴展望台の段差を解消しました!!

季節によって、その姿を変える設楽ダムの建設事業を皆さんにぜひご覧いただければと思います、設楽ダム見晴展望台を整備しています。

昨年度末にスロープを設置するなど、バリアフリーにも順次対応して参りますので、お時間があるときはぜひ足をお運びください。



見晴展望台の段差解消(左:解消前、右:解消後)

コ ラ ム 0 3 堤 体 コ ン ク リ ー ト

ダム本体工事

<工事の流れ>



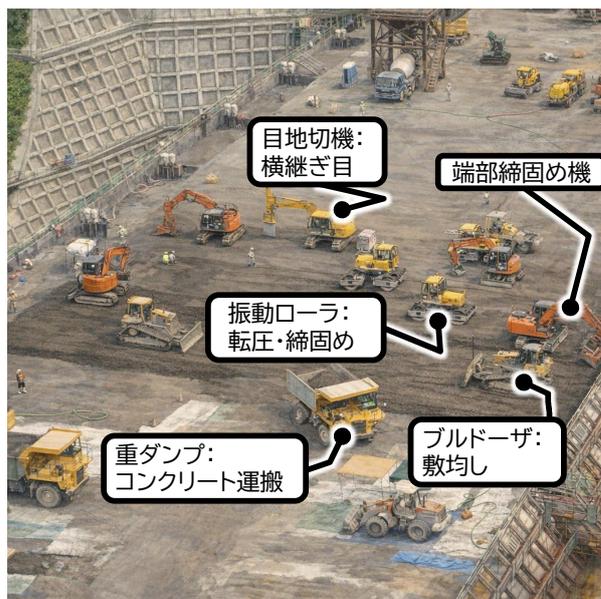
堤体コンクリートについて

前回に続き堤体コンクリートの打設をご紹介します。

設楽ダムではコンクリートの打設工法として、「RCD (Roller Compacted Dam-concrete) 工法」を採用します。RCD工法は、日本で開発されたコンクリートダムの合理化施工法で、一般的なコンクリートとは異なる流動性のない超硬練りコンクリートを使用し、ダム全面を1メートルずつ、層状に打ち上げていきます。

打設方法としては、コンクリートをブルドーザで敷き均した後、振動ローラーで転圧・締固めを行います。この工法では、施工能力の高い大型建設機械を多く使用して迅速に打設することで、工費の削減や工期の短縮が可能となります。また、層状に打設することで、大きな高低差のない場所で打設ができるため、安全性も向上します。

コンクリート打設と同時に、ダム本体内部の管理用通路やエレベータ、点検用の機器を設置します。



湯西川ダムの施工時写真より

資料提供: 鹿島・戸田・竹中土木特定建設工事共同企業体

国土交通省中部地方整備局 設楽ダム工事事務所

HP <https://www.cbr.mlit.go.jp/shitara/>



新城庁舎

〒441-1341 新城市杉山字大東57
総務課 TEL (0536)23-4331 FAX (0536)23-4401
用地第一課 TEL (0536)23-4387 FAX (0536)23-4408
用地第二課

設楽庁舎

〒441-2301 北設楽郡設楽町田口字川原田1-2
工務課 TEL (0536)62-1290
調査課 TEL (0536)62-1292 FAX (0536)62-1291
工事課 TEL (0536)62-1293